

さくらちゃんの 教えてドクター！



呼吸器内科 森田弘子先生に聞きました！ 睡眠時無呼吸症候群について

Q1. 睡眠時無呼吸症候群（SAS）とは、どのような病気ですか？

眠っている間に呼吸が止まる病気です。SAS 患者さまの約 9 割は空気の通り道である上気道が狭くなり呼吸が止まる閉塞性タイプですが、まれに呼吸中枢の異常で呼吸が止まる中枢性タイプの方もいます。

寝ている間の無呼吸に気づくことはなかなかできないため、検査・治療を受けていない患者さまが多くいると言われています。

Q2. 睡眠時無呼吸症候群では、どんな症状が現れますか？

睡眠中に呼吸停止が繰り返されると体内の酸素が減ります。酸素不足を補うために心拍数が上がり、脳や身体に大きな負担がかかります。その結果、強い眠気や倦怠感、集中力の低下が引き起こされ、日中の様々な活動に影響が生じます。

Q3. 睡眠時無呼吸症候群によって、日常生活にどのような影響が出ますか？

SAS 患者様が交通事故を起こす確率は、一般ドライバーの 2.5 倍といわれています。また、高血圧・糖尿病・心血管や脳血管疾患などのリスクが高くなります。

Q4. どんな症状がある場合に、病院を受診すべきですか？

また、何科を受診すればよいですか？

SAS 患者さまの大多数の主症状は「いびき」です。しばらく止まった後にガガッという音と共に再開する、朝までずっと続く、仰向けに寝ると大きくなるようないびきを指摘された方は、呼吸器内科や循環器内科、耳鼻科などを受診しましょう。

Q5. 睡眠時無呼吸症候群の検査・診断はどのような流れで行いますか？

まずは自宅で簡易式検査装置を一晩つけていただき、簡易検査を行います。精密検査が必要な場合は、入院もしくは自宅での終夜睡眠ポリグラフィ（PSG）で精密検査を行います。検査費用（3 割負担の場合）は、簡易検査で約 3,000 円、

精密検査（自宅）で約 10,500 円、精密（入院）で約 30,000 円です。

Q6. どんな治療方法がありますか？

軽症の場合、減量・節酒・禁煙などの生活指導やマウスピースにて様子を見ますが、中等症～重症の場合は持続陽圧呼吸療法（CPAP）を行います。鼻や口に呼吸器とつながったマスクをつけることで、空気を吸っているときも吐いているときも空気が送り込まれるため、空気の通り道が完全に閉塞しなくなります。保険適応の場合の治療の費用（3割負担）は、CPAP レンタル料 1ヶ月 約 5,000 円になります。



森田病院 呼吸器内科 森田弘子先生